

平成25年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	APECビジネス諮問委員会(ABAC)拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	経済局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度開始		担当課室	アジア太平洋経済協力室		室長 山本 祐司		
会計区分	一般会計		政策・施策名	- 2 国際機関を通じた経済及び社会分野に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項 外務省設置法第四条第三項		関係する計画、通知等	APECの諮問機関的な立場にあるABACの活動支援として、各メンバー・エコノミーが国際事務局に対し拠出することが求められているため。				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	APEC首脳に対して重要且つ有益な提言を行うAPECビジネス諮問委員会(ABAC)の活動を支援し、アジア太平洋経済の発展を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	APECの諮問機関であるABACの活動支援とし、予め合意された分担率に従い、ABAC国際事務局に拠出を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	4	4	4	4		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	-		
	執行額		4	4	4	4		
	執行率(%)		100	100	100			
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度
ABACの活動を支援し、ビジネス界の知見をアジア太平洋経済の発展に活用すること。 ABACの提言を取りまとめ、APEC首脳(我が国は、総理大臣)に手交すること。		成果実績	手交した回数	1	1	1	1	
		達成度	%	100	100	100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ABACの会議の開催。		活動実績 (当初見込み)	年4回の会合を開催	4	4 (4)	4 (4)	— (4)
単位当たりコスト	(3,709,800円/1拠出)		算出根拠	1年度あたりの我が省拠出額				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	その他	4						
	計	4						

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	我が国ABAC委員は我が国総理大臣が任命しており、国内では、国から依頼する事業となっている。そのため、日本政府としてABAC国際事務局への拠出を行う必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			-		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-	ABACの国際事務局は、正式な事務局員数は少なく、人件費等については抑制されている。また、毎年前年の会計報告を受けており、拠出金の使途について明確になっている。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	ABACは毎年APEC首脳会議に向けて、首脳への提言を提出。また、ABAC委員とAPEC首脳との対話の場が設けられ、APECの首脳宣言には、ABACからの提言内容が多く盛り込まれている。この他にも、APEC貿易担当大臣会合、財務大臣会合等の主要な閣僚級会合に向けても提言を提出し、APECの閣僚級会合の成果等に提言内容が多く盛り込まれている。また、ABACでは、各種提言をいかに効果的にAPECへ伝達するかを検討やABACの提言がAPECでどの程度実施されているかのモニタリングを行う作業部会を設置し、ABACの提言がさらに効果を持つものとなるよう取り組んでいる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	2010年の首脳宣言では、ABACからの提言に基づき、2015年までに域内の国際物流能力を10%改善し、ビジネス展開の安さ・速さ・容易さを25%改善するという目標が盛り込まれた。2012年の首脳宣言でも再確認されている。 ABAC拠出金は、国際事務局維持運営費の他、ABAC総会開催経費、ABAC各タスクフォース活動連絡・調整関係費も担っており、ABACの活動が安定的かつ着実に行われることに貢献しており、本拠出は現在準義務的拠出として財務登録されている。平成25年度以降についても、実際に予め定められた分担率に基づき各メンバー国・地域が負担する義務的性格なものとして拠出していくことが必要。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	160	平成23年	155	平成24年	178